

「Japan フェア in 広州」への出展結果について

07.9.27 財団法人鳥取県産業振興機構

中国広州市で開催された第4回中国国際中小企業博覧会(展示面積15万㎡、出品者数4千社)の中のメイン事業である「Japan フェア in 広州」に、当財団が初めて参加し、県内企業7社が出展しました。

【「Japan フェア in 広州」の概要】

- 1 会 期 2007年9月15日(土)から18日(火)までの4日間
- 2 会 場 中国広東省広州市「広州国際会議展覧中心」
- 3 主 催 者 中国国家発展改革委員会、商務部、広東省政府、日本国経済産業省
- 4 出展規模 459の企業・団体が出展(約8,500㎡)
- 5 来場者数 中国、日本ほかから30.5万人
- 6 本県からの出展

(1) 出展概要

当機構が6ブース(54㎡)を借り上げ、県内7企業の製品を紹介

企業(順不同)		主な出展商品
サンライズ工業(株)	鳥取市	アンカーボルト
(株)田中製作所	鳥取市	金属プレス部品
(株)日本マイクロシステム	米子市	基板検査機
ニッパ(株)	大山町	ペットフィルムセパレーター
日本セラミック(株)	鳥取市	赤外線センサー
(有)澤井珈琲	米子市	氷温アイスコーヒー
千代むすび酒造(株)	境港市	日本酒

*このほか、皆生グランドホテル天水 華水亭が機構ブースではなく、単独で出展。

(2) 出展の成果

- ・各出展企業とも広東地区での博覧会参加は初めてではあったが、各種の商談が設けられるなど、概ね同地区が有望な販路開拓先として検討していく価値があるとの認識に達した。

(商談件数： 商品説明86、代理店希望20、見積提供4 計110件)

- ・また、併せて、中国での経済発展の牽引的存在である広州市での博覧会出展等を通じ、最新の中国経済全体の動向、中国市場のFS(市場可能性検証)をより理解するための一助となった。
- ・このほか、博覧会後に実施した食品関係の広東地区(広州市、深圳市、珠海市)でのバヤ-訪問による販路開拓について、一定の成果があがった。

■ 写真



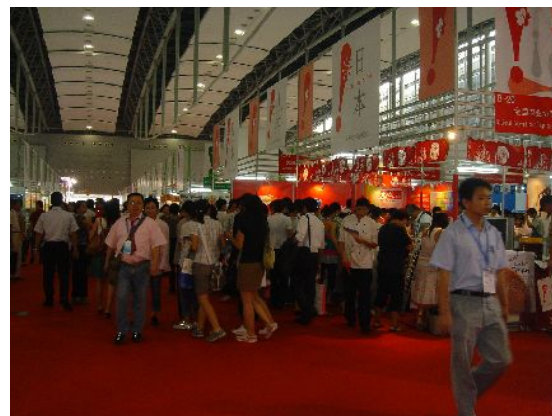
【機構ブース】



【機構ブース】



【機構ブース】



【会場の様子】